

(別紙)

令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 埼玉県

【基本情報】

フリガナ	シヤカイフクシホウジンサイタマリヨウイクトモノカイ
法人名	社会福祉法人埼玉療育友の会
フリガナ	サイタマリヨウイクエン
事業所名	埼玉療育園
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	障害児入所施設
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	112.6 人

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) パラマウントベッド エスパイアシリーズ センサーベッド(3台)

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	1人あたり業務時間(G×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換		0 件		#DIV/0!	
	2 排泄介助・支援		0 件		#DIV/0!	
	3 生活自立支援(※1)		0 件		#DIV/0!	
	4 行動上の問題への対応(※2)		0 件		#DIV/0!	
	5 その他の直接介護		0 件		#DIV/0!	
間接業務	6 巡回・移動	35 人	270 件	30 分	46 時間	
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		#DIV/0!	
	8 見守り機器の使用・確認	35 人	60 件	720 件	5 分	2 時間
	9 その他の間接業務	35 人	14,432 件	173,184 件	1 分	82 時間
		14,762 件	177,144 件	36 分	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

1日当たり、主に夜間、巡回・移動の回数約9回程度、
見守り機器の使用・確認 1日約2回程度、
その他の間接業務 職員一人当たり1日約13~14回の利用者の個別の目視確認等を行った。

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

夜間の病棟巡回・移動を一回につき平均30分、
見守り機器の使用・確認(ナースコール盤の表示確認)を1回につき5分程度、
その他の間接業務、各部屋の個別目視確認等に1回1分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	1人あたり業務時間(G×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換		0 件		#DIV/0!	
	2 排泄介助・支援		0 件		#DIV/0!	
	3 生活自立支援(※1)		0 件		#DIV/0!	
	4 行動上の問題への対応(※2)		0 件		#DIV/0!	
	5 その他の直接介護		0 件		#DIV/0!	
間接業務	6 巡回・移動	35 人	180 件	30 分	31 時間	
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		#DIV/0!	
	8 見守り機器の使用・確認	35 人	120 件	1,440 件	5 分	3 時間
	9 その他の間接業務	35 人	13,260 件	159,120 件	1 分	76 時間
		13,560 件	162,720 件	36 分	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

1日当たり、主に夜間、巡回・移動の回数約6回程度、
見守り機器の使用・確認 1日約2回程度、
その他の間接業務 職員一人当たり1日約13~14回の利用者の個別の目視確認等を行った。

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

夜間の病棟巡回・移動を一回につき平均30分、
見守り機器の使用・確認(ナースコール盤の表示確認)を1回につき5分程度、
その他の間接業務、各部屋の個別目視確認等に1回1分

年間業務時間数想定削減率(%)

#REF!

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

見守り支援においては職員の身体的・精神的な負担が生じていると考える。センサーベッドを導入することにより、ナースコールへセンサーの通知によりベッドからの転倒・転落を未然に防ぐこともでき、また少ない人数で対応しなければいけない夜勤帯にも、 unnecessary 訪室を減らすことが可能となり、職員の身体的・精神的な負担を軽減できる。

(5)今後の課題

当園に於いては、体動の激しい利用者に対してはベッドから転倒・転落の危険があり、転倒・転落防止の為に高柵ベッドを余儀なく使用する必要がある。また、ベッド欄上げ忘れ等のインシデントの発生や少ない人数で対応しなければいけない夜勤帯による職員への負担などの課題を抱えている。ICT機器を搭載したセンサーベッド等の見守り支援の強化による安心・安全の確保に向けた取り組みを進めるとともに、身体拘束等の制限を減らしていく必要がある。

(6)気づき等について

補助金及び予算の関係でセンサーベッドを今回3台追加し計6台導入済みであるが、見守り効果については有効であることから、ベッドの入れ替えの際には、今後も補助金によるセンサーベッド入れ替え台数を増やすことを検討していきたい。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--